

令和 8 年度支部行事 「武蔵一宮 氷川神社正式参拝」報告

若木育成会東京都第 4 支部

2月8日(日)、第4支部の一行30名は、貸し切りの大型バスで、埼玉県さいたま市在の武蔵一宮である氷川神社を正式参拝致しました。この日は前夜から降り続く雪のため電車が遅れるなか参加者各位には時間通りにご参集頂き、予定通り出発することが出来ました。

第五代孝昭天皇の御代3年4月未の日のご創立と伝えられる同社のご祭神は「須佐之男命(すさのおのみこと)」「稲田姫命(いなだひめのみこと)」「大己貴命(おこなむちのみこと)」であり、令和10年にはご鎮座2500年を迎えます。武家政権各時代の尊崇を受け、更にはその長い社史の中でも明治天皇のご親祭、ご行幸は格別なご事跡と言えます。予定よりも少し早く到着し、雪降り頻る中、境内に歩みを進めると雪化粧された境内への笹の小道、神楽殿、ご本殿へと開け、「美しい」「神々しい」と立ち止まって写真に収める参加者が数多くいらっしゃいました。

雪が絶え間なく降りしきるなか、國學院大學ご出身の馬場禰宜お立会いのもと正式参拝を執り行ったあと、氷川神社の由来を始めとした様々なお話を伺いました。寒さは身に染みましたが、誠に清々しく有意義な時間でした。正式参拝の後はお担当の方に境内をご案内頂き同社の「トリビア」を色々と伺いました。ご関心のある方はHP等を覗いて見て下さい。境内散策の後、社務所の二階にある広間に移動し、お楽しみのお昼ご飯の時間となります。今回は創業明治14年の老舗「伊勢錦」の仕出し弁当を、神社から頂戴した「お神酒」と一緒に頂きました。流石は老舗、とても美味でした。



お昼ご飯の後は、雪も降り止み晴れ間も覗くなか、神社から南に2キロも連なる日本最長の参道をお散歩される方、名物の揚げ饅頭を別腹でお求めになる方と様々。15時過ぎには帰路につき、17時には解散となりました。

雪降り頻る中での稀有な正式参拝はいつまでも記憶に残ることと思います。良き日をご一緒頂いた参加者各位に感謝申し上げます。誠に有難うございました。

参加者代表代筆